



読書活動の充実を目指して

校長 野村 洋介

音楽会には、大勢の方に参観していただき本当にありがとうございました。子どもたちは、自分の役割を理解し、学年全員で1つの作品を作るために協力して取り組みました。「緊張する。」と言っていた子どもたちも多くいました。良い経験になったと思います。行事は、子どもたちが成長するためにあります。行事から学んだことを、学校生活や日常生活に生かしていけるようにしていくことが大切です。仲間のために頑張る気持ち、迷惑をかけないで行動しようとする気持ち、それらの気持ちをもち続けてほしいです。

現在、一人一台の学習用端末（以下クロムブック）が配布され、ICTを活用した学習が進められています。ICTの活用は、子どもたちがこれからの社会を生きていく上で大切です。ICTの活用技術・能力が高ければ、例えば就職等の際に自分の活用できる技術としてアピールすることができます。学校でもクロムブックを正しく活用していくための取組を進めていきます。ICTを活用する一方で、以前から行われている読書活動を充実させたいという思いがあります。読書は、多くの語彙や多様な表現を通して様々な世界に触れ、これを疑似的に体験したり、知識を獲得したりして新たな考え方に会うことを可能にするものです。夏休み中に読書手帳の取組を行いました。夏休み中に12冊以上の本を読んだ子どもが219人いました。本当に良く取り組んだと思います。そして、多くのことを本から学んだと思います。様々な学習を行わなければいけない学校だけでは読書活動を充実させていくことは難しいです。ご家庭でも、声をかけていただき子どもたちの読書活動を学校とともに推進していただければと考えています。ICTの活用のような新しい取組と読書活動のような以前から続いている取組を融合した新しい教育が子どもたちのために必要だと感じています。

【子ども見守りシートの活用について】

音楽会が終わり冬休みまで残り1か月となりました。大きな行事の後は、子どもたちは緊張感から解放されます。それと同時に、子どもたち同士のトラブルも起こりやすくなります。学校では、この時期特に子どもたち一人一人をよく見るようにしています。しかしながら530人以上の子どもたちの状況を教職員だけで把握することは難しいです。嫌な思いをしている子どもが、相談できずに悩んでいるかと常に心配しています。ご家庭でも、お子様の様子を見ていただき少しでも様子がおかしいときは学校に教えてください。その情報が、子どもたちの人間関係の把握につながります。本校で行っている「子ども見守りシート」は、辛い思いをしている子どもがいたら少しでも早く助けてあげるための取組です。提出された「子ども見守りシート」は、お子様が担任に提出すると担任から副校長に届き、校長・副校長で確認し、対応方針を決めます。直接、職員室に届けていただいても構いません。また、折っていただいて小さめの封筒に入れての提出でも構いません。お子様の様子で気になることがあれば遠慮なく「子ども見守りシート」をご活用ください。